

行動日程表

1. 行動の予定

月日	行 動 予 定
9月19日	関西国際空港出発 [CA152] 17:20発/移動:大阪~北京
9月20日	移動:北京~ウルムチ(飛行機) ウルムチにて打合せ・準備
9月24日	移動:ウルムチ~カシュガル(飛行機)
9月25日	カシュガルにて準備
9月26日	準備探検(カシュガル~カラクリ湖)
9月27日	カシュガルにて準備
9月28日	移動:カシュガル~メルキト(車両) メルキトにて準備
10月 1日	踏破開始。(メルキト出発)
10月 4日	80km地点にて第一回補給
10月10日	第一回休息日
10月19日	ホータン川合流部にて第二回補給
10月20日	第二回休息日
10月26日	ホータン到着
10月27日	ホータン滞在
10月28日	移動:ホータン~ウルムチ(飛行機)/解散

2. 実際の行程

月日	行 動 報 告
9月18日	関西国際空港出発/移動:大阪~北京(飛行機)/遠東飯店・泊
9月19日	各自自由行動
9月20日	移動:北京~ウルムチ/中国側隊員と接触/ウルムチ中科院招待所・泊
9月21日	中科院にて打合せ/市街にて準備/夜、中国側隊員と会食
9月22日	準備
9月23日	移動:ウルムチ~カシュガル/色満賓館・泊
9月24日	準備探検(カラクリ湖)
9月25日	移動:カシュガル~メルキト/メルキト人民政府招待所・泊
9月26日	装備類準備/タワキスキ村訪問
9月27日	最終打合せ
9月28日	踏破開始(17:45)/非常に暑いくて苦しい。 [中国隊:趙・黄]
9月29日	曇天の中、延々と続く低い砂丘地帯を進む。ラクダの飲料水用にテン場で井戸を掘る。
9月30日	湿り気を帯びた塩沢を進む。羊飼いと遭遇。羊を購入しその場でさばく。
10月 1日	巨大な砂丘地帯を歩く。
10月 2日	第一補給日/トラックの轍を発見。 [中国隊:趙・段]
10月 3日	大砂丘地帯を一日中歩く。ウイグル人が夕食にジャオ飯を作る。
10月 4日	砂丘地帯を抜けて岩山帯の最西端に出る。
10月 5日	ひどく暑い日。
10月 6日	第二補給日/中継基地(S1)に到着。夕食は久しぶりに豪華な中華料理だった。
10月 7日	第一休息日/駱駝に騎乗、大砂丘を見に北の岩山帯(ヘミターゲット)に登る。
10月 8日	殺人的な暑さ。岩山帯はルス・ターゲットと名前を変える。 [中国隊:劉・黄]
10月 9日	スイカが腐敗していた。夜、満点の星空の中、日中歌合戦となる。
10月10日	大石油基地(烏一井油田)到着。コンテナで出来た基地の寮に宿泊する。
10月11日	第二休息日兼第三補給日/非常に風が強い。
10月12日	今遠征最大級の砂丘地帯を抜ける。中継基地の近くに幕営。
10月13日	涼しい日。段さんと合流。 [中国隊:段・劉・黄]
10月14日	川上流部氾濫の為、ここの中継基地で最終補給。 [中国隊:趙・劉・黄]
10月15日	朝、ネズミを捕まえると指を噛まれた。地面と表面に段差のある妙なところを一日中歩く。
10月16日	マサルターゲット南嶺を延々と歩く。
10月17日	ホータン川出合いに到着。植生がすばらしいが、川は完全にワジになっていた。
10月18日	第三休息日/マサルターゲット遺跡に登る。放牧者と出会い、羊を買う。

月日	行動
10月19日	イチョウの並木の中を延々と進む。
10月20日	黄金色に紅葉した木々が美しい。
10月21日	道が通じたらしく、ホータンから来た応援隊と合流。 [中国隊：段・趙]
10月22日	金色の草原を抜ける。途中、先行していた香川・本多が道を間違える。
10月23日	朝、駱駝のドゥンルカ逃亡。この日、いくつかの水のある川を越える。
10月24日	ハルチェンバフ村に入る。久しぶりの村だ。見るものが新鮮に見える。
10月25日	非常に整備された砂利道に出る。ホンチー集落を越える。
10月26日	美しいポプラ並木の小さな集落をいくつか抜ける。
10月27日	17:30、ゴールであるホータン大橋に到着。学歌・部歌斉唱。／打ち上げ／和田賓館・泊
10月28日	ホータンの町にてバザール見学／アザホンの屋敷に招待される。
10月29日	野口・香川・本多、砂漠横断道路を通る為、先に車両でウルムチに出発
10月30日	移動：ホータン～ウルムチ（飛行機）／中科院招待所・泊
10月31日	車組、午前3時に到着。／荷下ろし／夜、中科院と会食。
11月 1日	荷物発送（⇒日本）／合宿解散。その後、隊員はそれぞれ中国各地に散って行った。

らくだの本当

1. らくだというときたいてい茶色っぽい、黄土色っぽいらくだを思い浮かべる。絶対数は多いけれど本当はそれだけではない。白い毛並みのものもあるのだ。
2. “らくだは死ぬときに涙を流す” きれいなイメージだけれど、それだったら、一緒に歩いたららくだの何頭かは死んでいなければならぬ？確かに私は砂が風でまっている日にらくだの目から涙が溢れているのを見た。目にはちゃんと長いまつ毛が生えている。
3. らくだのトイレなんてない。いつでもどこでも大小関係なく歩きながらしている。例外は先頭を歩いていた年をとっているらくだ、ドゥンルカだけ。彼のトイレタイムのたびに隊は止まり、休憩になる。そして彼の用が終わると再び進む。らくだたちは止まるといっせいに小便を放つ。毎日水を飲ませることができたわけではないけれど、すごい量だった。大便の時はしっぽを上を上げる。
4. らくだの弱点はお・な・か。あるとき荷を解いたためパッキングが緩んだままになっていたらくだが立ち上がると、するすると紐を滑るようにしておなかのあたりに荷物がぶら下がった。おなかに何かが当たるから大暴れするのだが、暴れることによって荷物は風の強い日の風鈴のようにますますおなかに当たる。暴れ出したらくだはなかなか恐ろしい。
5. らくだのしっぽ。多くの他の動物がそうであるようにらくだもしっぽでハエを払う。左右上下、自由自在に動くしっぽは見えてなかなかかわいい。
6. らくだのこぶ。一緒に歩いたららくだは双コブラくだだ。こぶが脂肪であるのはよく知られているけれど、そのコブは絵に出てくるようにきちんと立っているのではなくてコブの付け根のところを左右に揺らせるようになっている。意外だった。 (本多)